

木製品分野 | 家具 230
KOPPA
 (株)ルーツ、NPO法人ワークサポートひかり、Luft



概要
 KOPPAは廃棄されることの多い木端を集め、製材し、スツール等に組み上げる商品です。商品の製造・販売だけではなく、木材や作り手の背景にもフォーカスをして商品展開を行っており、「まなぶ」「つくる」「つなげる」をテーマにした作り手と使い手の交流機会を大切にしています。使い手にとっては「ものづくり」に参画する機会を提供し、作り手(障がい者)にとっては「社会」に参画する機会を提供する。

◆仕様:価格:3,500円~、入手先:MIX life-style、D&DEPARTMENT
<https://www.facebook.com/KOPPA-875601502526449/>
評価ポイント 障がい者就労支援と生活者のものづくりへの参画の両立を目指す、つながりのデザイン。DIY的に楽しめる製品開発も有効。

木製品分野 | 家具 227
丸椅子
 (有)柳沢木工所



概要
 信州カラマツの強度を活かした、座と脚のみのシンプルなスツール(腰掛)です。座面の高さが約50cmと一般的な椅子より高く、立ったり座ったりを繰り返す作業に適しています。とても軽いため、持ち運びも簡単です。座面には座り心地を良くするために座グリを施しました。脚に角度をつけることで、安定して座れます。接着剤はホルムアルデヒド放散対象外F☆☆☆☆に登録のものを使用しています。月日が経つと美しい赤みを増し艶色の艶が出てくるのも魅力です。

◆仕様:φ300mm 高さ500mm、価格:10,000円(税別)、入手先:(有)柳沢木工所
<http://www.mokko.co.jp>
評価ポイント 県産カラマツの利用を促す取組における製品のひとつで、座りやすさ、運びやすさにこだわったシンプルな椅子である。経年による色の変化も楽しめる。

木製品分野 | 家具 231
MOROTSUKA
 (株)ワイス・ワイス



概要
 しいたけ産業は原木栽培から菌床栽培に移り、生産現場は日本から中国に転移した育ち過ぎた木々は放置され、植林もできず、森の循環をストップさせる。困り果てたしいたけ栽培農家は宮崎県諸塚村役場に相談、環境活動を展開する国際環境NGO FoE Japanと共にワイス・ワイスは「諸塚どんぐり材活用プロジェクト」MOROTSUKAを2010年にスタートし、家具づくりを通じて問題解決に取り組んでいる。

◆仕様:◆仕様:フレーム/クスギ無垢材(宮崎県産)、背・座/ヒノキ集成材(宮崎県産)、価格:63,000円(品番KH-102)、入手先:ワイス・ワイス表参道店 or ワイス・ワイス オンラインショップ
<http://wisewise.com/>又は<http://wisewisefurniture.com/>
評価ポイント シイタケ生産や薪炭材として利用された材の循環に着目し、地域一体の取組につなげ、都市と山間部との交流に結びつけたソーシャルデザインの好例。

木製品分野 | 家具 228
aチェア
 (有)ラ・ビーダ



概要
 aチェアは、ラビーダが設計、企画、製作を行っているmade in 福島の家具です。日本の山林の保全や林業文化の継承を考え、木部の材料には国産のナラ材が使われています。良材を世代を超えて永く使っていくために、強度やメンテナンス性に様々な工夫を凝らした椅子です。

◆仕様:木部:ナラ・オイル仕上げ、張地:布・革等、価格:36,000円~(税抜)、入手先:LaVida店舗、LaVida webサイト <http://lavida.co.jp/furniture/original/a-chair/>
評価ポイント デザインの軽快さの中に、鹿革や漆を使うメッセージ性が込められている。地場産業と伝統技術の継承につながる社会性ある製品。

木製品分野 | 雑貨・日用品 232
ORICCO
 秩父森画/秩父もくもくきかく、Handweaver Magnetic Pole、北村久美子、足立志次郎



概要
 手仕事の足跡を味わい、そのデザイン性までも楽しめるインテリア要素を有する簡易織機と織りの講習を一つにした仕組みが生まれました。秩父銘仙伝統工芸士北村久美子さんとツグミ工芸舎で開発したものです。ORICCOの武器4枚綜統を使用すると、平織りだけではなく複雑で多様な変り織りなど本格的な織りが600種類以上できます。秩父村で作った道具、それで作られた織物に興味を持ち自身で手織りを始め、身近なものの製作ができる人口が増えて社会が楽しく元気になることを目指しています。

◆仕様:38cm×23.5cm×17cm、価格:38,000円(税込・本体価格)、入手先:ツグミ工芸舎
<http://tugumi-craft.jp>
評価ポイント 織物の町で地元材を使った折機を製作、暮らしの中に手織り文化を普及させつつ、森林資源活用にもつなげる。地域振興の良質なモデルである。

木製品分野 | 家具 229
教育用家具「地域産材でつくる自分で組み立てるつくえ」
 Re:吉野と暮らす会、藤森泰司アトリエ、パワープレイス(株)、(株)内田洋行



概要
 吉野の木材関係者の有志が集まる「Re:吉野と暮らす会」が中心になり、奈良県吉野町立吉野中学校でのプロジェクトが誕生しました。生徒用つくえの脚部は、丈夫で長く使えるようスチール製に、天板部分は吉野ヒノキで、生徒本人だけのものとして、入学時に組み立て、卒業時には天板部分だけはずして持ち帰るプログラムになっています。この取り組みは、町の事業として継続され、地域と企業、地域内の産業、大人と子どもなどを結びつける地域経済循環の新しい仕組みとなっています。

◆仕様:机W650mm x D450mm x H700mm 椅子W430mm×D432mm×H720mm、価格:99,750円、入手先:株式会社内田洋行・Re:吉野と暮らす会
<http://www.uchida.co.jp> <http://yoshinochoboku.com/>
評価ポイント つくる、使う、さらに卒業時に持ち帰るという一連の流れから、継続的なものづくり、もの使いの仕組みをうまく訴求している。

木製品分野 | 家具 224
interesse
 (有)萩原製作所、秋田県家具工業会



概要
 国産杉と広葉樹のハイブリッド成型合板技術を産学官連携で研究開発し生まれた学校用の机と椅子です。杉と広葉樹それぞれの特性を活かし、強度性能と軽量を兼ね備えたスマートなフォルムを実現しました。地場産の多様な樹種による様々な表情の木目を持つ広い天板と、脚部の柔らかな曲線が特徴の椅子は、地域の森を身近に感じられ、ゆとりを持った学習環境を提供し、学びの質を高めます。

◆仕様:interesse-ST desk 800×500×700 interesse-CHV1 chair 450×560×800 SH420、価格:ST65,000円 CHV1 52,000円、入手先:有限会社萩原製作所・秋田県家具工業会 <http://www.chuokai-akita.or.jp/kinokagu/#id82>
評価ポイント 産学官連携の研究成果を活用した点、少子化時代に合わせて天板を大きくしゆとりとした学習空間がつけられる点は、いずれも社会提案性が高い。

木製品分野 | 家具 221
アドベンチャー
 (有)白樺木材



概要
 規格品である105mm角をボルトレスのフレームに差し込み、雨水等の浸水を削減することにより腐食を遅らせる。2個のフレームで6m前後の長尺のベンチができる。通常角材は虫の害や強度に影響のない欠点材を使用する事で材の価格の底上げにつなげる。座面が105mm角なので酔っ払い、浮浪者が寝られないのも特徴です。シンプルなデザインで仕上げているため景観を損なわず設置してもらえます。ボルトレスの為、角材の交換は容易です。防腐剤は使用せず古くなれば変える。消費型循環を目的としています。

◆仕様:価格:98,000円~、入手先:白樺木材 www.wood.2015.web.fc2.com/
評価ポイント 入手が簡単な寸法の角材をそのまま利用でき汎用性を高め、導入しやすくしたアイデアが良い。材の交換も容易である。

木製品分野 | 家具 225
Shimashima stool
 堀内ウッドクラフト



概要
 国産のFSC森林認証広葉樹を使用したスツールです。弊社は約10年前からFSC森林認証のCOC認証を取得し、国内での認知度の向上のため認証製品を作り続けてきました。使われている材料はチップ用材です。小径木が多く単一樹種を大量に集めるには厳しいので集成し、寄木細工のように違う色の木を使い模様によればよいと考えました。小田原箱根地方の寄木細工の技術と、木製パーツの技術、座面は木地師である私の挽物の技術を使い、絵になる、かわいいスツールに仕上がりました。

◆仕様:価格:40,000円、入手先:堀内ウッドクラフトWebShop
<http://www.horiuchiwoodcraft.com/>
評価ポイント 国産FSC認証材を使っている公益性と、きれいな模様を醸し出すデザインは、使う人への背景にある社会的テーマを伝えたいという工夫が読み取れる。

木製品分野 | 家具 222
藍する楓
 関野木材



概要
 長い間、銘木木材業を営み、良質の材、端材など多数あり、十数年前より木の器を作り始めました。秩父は昔より楓の良材が出た所です。今回、秩父市の木である楓を使い、秩父夜祭の半纏など藍染する染屋さんに藍染していただき、器を仕上げました。

◆仕様:入手先:関野木材工場
評価ポイント 地域の材と伝統技術を使って、木製の器に新しい顔をつけることにチャレンジした。藍色はそこに置かれるものの存在を際立たせる役割も担う。

木製品分野 | 家具 226
鼓テーブル
 (有)柳沢木工所



概要
 信州カラマツを使ったダイニングテーブルです。板として狂いにくい柎目を使い、更に狂いにくい天板になるように「木口」を露出させない設計にしました。その結果、鼓型の独創的なデザインのテーブルになりました。塗料・接着剤はホルムアルデヒド放散対象外F☆☆☆☆に登録のものを使用しています。天板は30mmございますが、角度をつけてカットすることにより見目がスッキリしています。脚にはアジャスターを付けてあるので調整してお使い頂けます。

◆仕様:長さ1,350mm×幅805mm×高さ695mm、価格:150,000円(税別)、入手先:有限会社柳沢木工所 <http://www.mokko.co.jp>
評価ポイント 県の造林面積の半分を占めるカラマツの利用を促す取組。個性が強いカラマツの木口を出さず、スタイリッシュにデザインをまとめた。

木製品分野 | 家具 223
間伐材活用学生机ナラ天板
 登米町森林組合、(有)ウッドピアベエ芸



概要
 しいたけ原木だったコナラが東日本大震災の放射能問題で使用できず、宮城県内陸部で害虫によるナラ枯れ被害が拡大しつつあるなど、広葉樹林の更新が急務でした。コナラは乾燥と加工技術が難しく材料としては敬遠されがちでしたが、平成25年度森林整備加速化・林業再生事業の「地域材利用開発」でコナラ材を使用した「間伐材活用学生机ナラ天板」を開発しました。地域の木材を地域の技術によって製品化し、地域で消費するサイクルを実現しました。

◆仕様:650mm×450mm×厚さ16mm、重量4.4kg(塗装品)、価格:25,500円(税抜)、入手先:登米町森林組合
評価ポイント 地元の森林資源を活用し、地場の企業で製品化されている。学生机を核として、地域資源の循環利用につなげた無理のない取組。